



別海町立野付中学校 学校便り

親潮

平成28年 4月 21日発行 第2号

学校スローガン

自分を信じ、仲間を信じ、共に
『いい声』『いい汗』『いい笑顔』

発行者

野付中学校校長 藤井 薫

ブログ <http://b-school.jp/blog/snotuke/index.php>

4月18日の全校朝会で・・・

4月14日（木）の深夜、九州地方を襲った巨大地震が発生し、その後もこれまでにない規模と頻度で災害が大きくなっています。まだまだ、被害の全貌すら明らかではありませんが、その被災者の追悼と復興を願い、先日の全校朝会で全校生徒・教職員で黙祷しました。

一日も早く日常を取り戻して頂けるように、本校生徒会も何らかの支援を考え始めています。



野付中学校の生徒の底力を感じる「チカの採卵実習」

校長 藤井 薫

先日、今年度の野付中学校の伝統的な活動である「チカの採卵実習」が無事に終了しました。中1にとっては初めての実習でしたが、実にこの実習を通して、生徒達が地域の産業や生活、伝統など多くの事を学んでいる事に驚くと共にその重要性を再認識しました。その実習を終えての中一の皆さんの感想の一部ですが、紹介します。

- いつもは、さりげなく食べていたけど、チカの腹の部分を押すと卵が出てくることを、チカの採卵で初めて気付きました。それと、チカはくさいということが分かりました。
- 朝、5時台に起きないといけないので大変だった。漁業の仕事をしている人は、朝早くやっついて大変だという事がわかった。
- 尾岱沼の漁業を安定させる為には、たくさんのチカの卵がいることを知って驚いた。
- チカの採卵で、チカを増やしていたのに初めて気がつきました。チカの採卵を行って理解を深めた事は、チカの採卵をして、また次の年も、またその次の年も・・・ということは何十年もやっていたんだなと改めて理解しました。
- チカの卵があんなに入っているとは思わなかった。

- チカと他の魚の見分けが、最初は分からなかったけど、二日目、三日目にちゃんと分けられるようになった。朝早く起きて、仕事に行く人の苦勞がわかった。
- チカの採卵を通して、チカがかなり獲れることを知りました。あと、チカにも大きいものや小さいものもいると知りました。来年はお手本になれるように頑張りたいです。
- 朝早くて少し辛かったし、すごく寒い日もあったので頑張りました。でもチカの卵を絞るのはすごく楽しかったし、選別も楽しかったです。
- やっぱり、チカを獲ってばかりじゃ減ってしまうので、こうやって人の手で増やすのも大切だなと思いました。あと、チカ以外にもいろいろな魚がいました。キュウリやカジカなどは知っていましたが、知らない魚もたくさんいました。
- チカの採卵実習三日間を通して、私はとても疲れしました。それとくさかったです。チカを絞っている時、とても驚いた事があります。それは「黄色い」という事です。そして「めちゃ手につく・・・」と思いました。
- 始めて気がついたことは、お父さんやお母さんが手伝いや仕事でこんなに早い時間に、採卵をやっていたんだと思いました。朝早くから採卵をするのは大変だけど、これからの野付の為にすることなのですごくいい事だと思いました。来年も頑張りたいです。
- 全体を通しての感想は、今までこの仕事は何十年も続いている事にびっくりしました。先輩方はすごく速くてびっくりしました。慣れて来ると片手でやっている人もいました。来年はもっと速く、そして二日で終らせたいです。そして、父の仕事も知りました。私は今まで何をしているのか知りませんでした。どんな仕事なのかを知る事ができ良かったです。
- 一番大変だったのは、朝早く起きることです。私はいつも起きるのが、遅かったり、寝るのが遅いので大変でした。来年からは早く寝て、早く起きることが出来るように日頃から気にしながら生活していきたいです。
- 気付いた事は、チカの採卵で足が痛くなったという事です。また、小さいのと大きいのに分けるということも初めて知りました。
- 漁師の人たちは、私達よりも朝早くから海に出て、大変だと思うけど、新鮮な魚を送れるようにしている事が改めて分かりました。チカの採卵をやるのは、違うと思うけどチカが絶滅しないようにやっているのだと私は気づきました。
- チカの採卵を通して、尾岱沼の漁業のチカの採卵は昔から引き継がれていることが、初めて気づきました。なぜ、「チカの採卵実習」をやるのかが、体験してみて理解できました。
- 朝早く起きるのは辛かったけど、野付の学校だからこそできる体験をすることができて良かったです。
- 最初は生きているチカは触れませんでした。三日間やっていくにつれて、死んでいるチカはすぐに触れたのですが、やっていくうちに生きているチカにも触れる事ができるようになりました。

これが中1全員の感想の一部ですが、「野付学」として位置付けられたこのチカの採卵実習が、生徒の心の育成に果たす役割の大きさを感じます。また、中2、中3の生徒は中1の生徒の見本として立派に活動できています。朝の6時前に全校生徒が集合し、山積みされた鮮魚をもものもせず、黙々と作業し、文句どころか達成感すら感じる生徒がいる本校の生徒達を、誇りに思いますね。早朝からの送迎等でご協力いただいた保護者の皆様、地域の皆様、野付漁協の皆様に感謝いたします。